



日本歯科大学新潟病院

IVY NEWS LETTER

Vol.27
2015.4.1

～地域歯科診療支援病院と地域医療の融合を目指して～

地域連携のために看護師が果たす役割

新潟病院看護科
看護師長

小林 裕子



平素は先生方からご指導をいただき厚く御礼申し上げます。本年1月に看護師長を引き継ぎました小林でございます。

日本歯科大学新潟病院は、大学病院としての医療教育および高度医療を提供すると共に地域医療に基盤を置いた病院を目指しており、隣接する日本歯科大学医科病院と連携し、歯・顎・口腔だけではなく、全身的治療が行われています。

看護科は笑顔と思いやりの心で、患者さまとそのご家族さまに信頼される看護師を目標に、日々進歩する医療に対して、質の高い看護の提供のため日々努力しております。乳児から高齢者、健常者から障がい者、そして寝たきり患者さまに対して、患者さま一人ひとりに合った看護で、快適な入院生活を送れるよう心がけています。

高齢化社会となり、認知症を抱えてのがん治療や独居高齢者などの患者さまが増加しています。さらに医療が病院中心から在宅へと移行し、医療依存度が高い患者さまも入院を継続できない時代です。看護師は、退院後を見すえたケアを行い、患者さまやご家族さまが望む場所に帰り、安心して生活できるように、地域との連携を図りサポートすることの重要性を感じています。近年、口腔ケアに対する認識が一般社会に共有できるようになりましたが、看護師による日常的な口腔ケアと、口腔機能の維持向上のためのより専門的口腔ケアは歯科医師および歯科衛生士が行うという、チームでの医療が行われています。

チーム医療の今、地域連携や他職種との連携を大切にし、看護師もネットワークの一員になれるよう努力してまいります。今後とも、ご指導をよろしくお願いいたします。



口臭についての最新トピックス

●総合診療科
いき息さわやか外来

高塩 智子



ここ数年、“におい”に関する関心が高まり、柔軟剤の購入などでも香りが重視されるようになってきています。歯科でも“におい”、“口臭”に関心を持つ方が多くなっているように感じられます。今回は、新しく制定された日本口臭学会のガイドラインの概要を説明します。

◆1.口臭ならびに口臭症の定義

口臭とは不快な臭気を意味するもので、その臭気の有無にかかわらず気になり悩む病態を口臭症といいます。臭気と疾病が明確に区別されました。

◆2.口臭の分類

I. 臭気を主体とした分類では

- 1)起床時・空腹時、ホルモンの変調や飲食物などの生理的な臭気
- 2)歯周疾患や粘膜疾患などの歯科口腔領域の疾患、副鼻腔炎などの耳鼻咽喉領域の疾患や、全身疾患などの器質的な変化に伴う病的な臭気に大別されます。

II. 口臭症の分類では、第3者の嗅覚を刺激する臭気があるかないかにかかわらず、本人が口臭を気にして悩んでいる病態(疾病)の分類により、生理的口臭症と病的口臭症大別され、病的口臭症はさらに、本人が気に悩んでいるかの有無によって(1)器質的口臭症と(2)心理的口臭症(神経症性障害と精神病性障害)に分けられます。

◆3.口臭の検査・診査

I. 問診

問診票が網羅すべき内容として項目が定められ、身体症状だけでなく、患者の不安の程度や、より専門的対応の必要性の手がかりを得るためのツールとして用いられ、むしろ心理的口臭症を念頭に置いた問診項目が求められます。また、問診項目だけでなく口頭で再確認することが重要になります。

II. 口臭の臭気物質

- 1)口腔・呼気から検出された臭気物質と2)臭気物質の最低知覚濃度(閾濃度)を測定します。

III. 臭気の判定方法

臭気の測定は、口腔内ガス・呼気ガス・鼻腔ガスと、臭気の発生由来部位に分けて行う必要があります。



ガスクロマトグラフィー®



ハリメーター®とプレストロン®

ます。

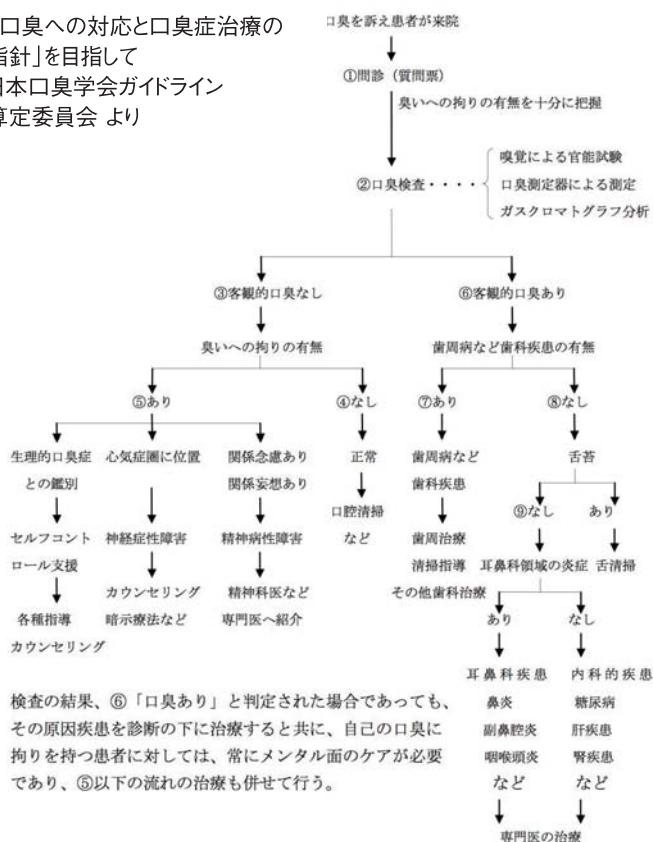
官能的検査法と機器分析法を併用します。機器分析法では、ガスクロマトグラフィーで臭い物質の質量を分析し、濃度を調べます。他にハリメーター、プレストロン等による口臭測定器を用いる方法、検知管法があります。

Ⅳ. 心理的口臭症—精神・心理面を評価する試み—

「自分から発する嫌な体臭のために他人に不快な感じを与えると悩む」神経症性障害に起因する口臭症、「妄想性障害」精神病性障害に起因する口臭症を併せて心理的口臭症、と歯科領域の軽傷群と精神科領域の重症群を併せて新たに呼称ができました。

◆4.口臭治療の進め方

「口臭への対応と口臭症治療の指針」を目指して
日本口臭学会ガイドライン
算定委員会 より



◆最後に

口臭測定には他の要因の影響を避けるために、飲食、うがい、喫煙をしないで来院していただきます。機器の都合上、予約なしで来院された場合は当日測定することはできません。また、測定は保険適応外になるため初診から自費料金での対応となります。必ず地域支援室を通して事前に電話予約を取られるようお願いできれば幸いです。

本年7月に第6回日本口臭学会が本学にて開催されます。口臭に興味のある先生はぜひご参加ください。



ドイツにおける口腔インプラントの動向

●新潟病院
口腔インプラント科
上田 一彦



◆ 1. はじめに

私は2013年9月から2014年10月まで、ドイツ連邦共和国に留学していました。はじめの2か月間、デュッセルドルフのハインリッヒ・ハイネ大学デュッセルドルフ歯学部口腔外科でインプラント治療研修を行い、その後1年間、ミュンヘンのルートヴィッヒ・マキシミリアンズ大学ミュンヘン歯学部補綴科で、CAD/CAM関連の補綴学的基礎研究を行いました。

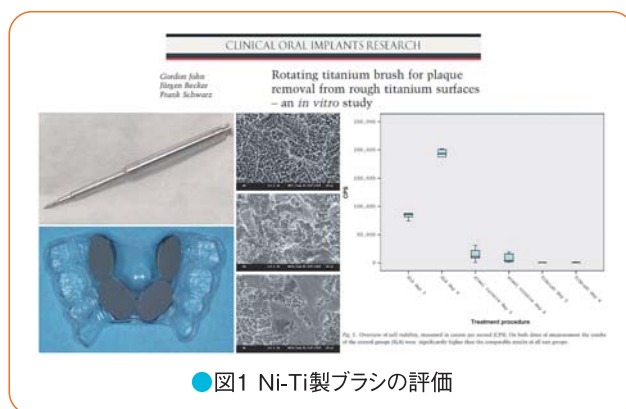
そこで、私が滞在した両大学における口腔インプラントの動向についてご紹介したいと思います。

◆ 2. ハインリッヒ・ハイネ大学デュッセルドルフ歯学部口腔外科

ハインリッヒ・ハイネ大学デュッセルドルフは、ドイツ西部に位置するノ르트ライン＝ヴェストファーレン州の州都であるデュッセルドルフにあります。

歯学部口腔外科はインプラント周囲炎の治療や研究が世界的に有名で、主任教授のJürgen Becker教授とFrank Schwarz教授を中心としたリサーチグループによるインプラント周囲炎に関する多くの研究論文を報告しています。研究内容は臨床へ

フィードバックされ、論点としてはインプラント周囲炎に対するEr-Yag レーザーを用いた非外科的治療、インプラント体周囲のデブライドメント、汚染されたインプラント体表面の機械的清掃などの外科的治療、またその後のRe-osseointegrationへの試みなど様々です。インプラント体表面の機械的清掃に用いる器具として、Ni-Ti製ブラシを独自に開発し日常臨床で使用しており、基礎研究においてもその良好な効果を報告しています（図1）。



● 図1 Ni-Ti製ブラシの評価

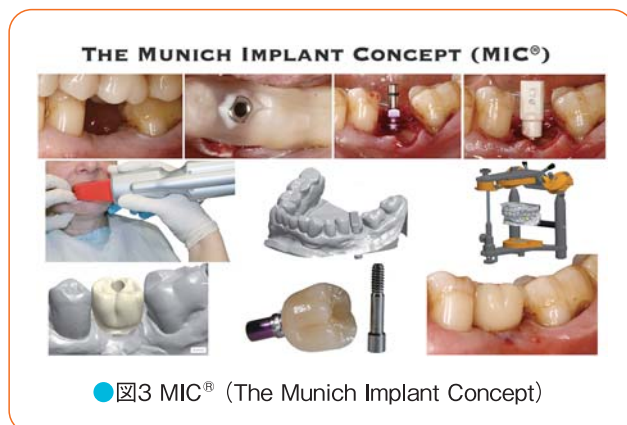
◆ 3. ルートヴィッヒ・マキシミリアンズ大学ミュンヘン歯学部補綴科

ルートヴィッヒ・マキシミリアンズ大学ミュンヘンは、ドイツ南部に位置するバイエルン自由州の州都であるミュンヘンにあります。

歯学部補綴科には多くのデジタル機器が設置、導入されており、通常の補綴治療に加えて、Florian Beuer教授を中心にRestorative drivenの考えを基に、デジタル機器を応用したインプラント治療が行われています。また、研究面においてもCAD/CAMを用いた研究論文を多数報告しています。

上部構造製作において、多くの症例にスキャンボディーが用いられ、従来の治療法(Analog)に加え、適材適所にデジタル技術(Digital)を導入して治療を行うDigilog(図2)や、CAD/CAMを用いてシンプルかつ効率的に上部構造を製作する、The Munich Implant Concept (MIC®)(図3)などの独自のコンセプトに沿った治療が行われています。MIC®の特長としては、

1. 印象採得に伴う不快感の軽減
 2. 従来の外科的プロトコルの変更不要
 3. 2次手術時に上部構造の装着が可能
 4. 印象採得、石膏模型製作に伴うエラーの排除(上部構造の寸法安定性向上)
 5. アバットメントの着脱によるインプラント周囲軟組織の損傷防止
 6. 機械的強度の高い単一材料を用いた上部構造製作による破折抵抗性の向上
- など、多くの利点を有しています。



◆4. おわりに

インプラント治療は現在、欠損修復法の1つとして日常臨床の場で多く行われています。今後、新たな材料や治療法が開発され、さらに発展していくことが予想されます。

その一方で、インプラント周囲炎をはじめ、現在直面している諸問題に加え、新たな問題が表面化し、あらゆる局面で新規材料開発や治療法の確立が望まれることになると思われます。そのため、日本国内のみならずドイツをはじめとする諸外国とのネットワークを広げ、様々な情報を得ることがとても重要になってくると考えます。今後、私は患者さんのLife tableを考慮した、個々のニーズに沿った最善の治療を行うことで、更なるQOLの向上に寄与したいと思います。

■ 地域歯科医療支援室から

日頃から当院の地域歯科医療連携につきましてご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

FAXによる事前予約を5年前から実施させていただき、年々利用していただく医療機関様が増加しております。初診の患者様の待ち時間が短縮され、患者サービスの向上に反映しております。患者様のご紹介、ご相談、地域連携に関するご意見、ご要望などございましたら、地域歯科医療支援室(直通☎025-211-8228)までお願いいたします。

*

*

*

*



新潟病院 主な診療スタッフ

★4月から一部診療科名とスタッフを変更いたしました★

＜病院長＞ 山口 晃 ＜副院長＞ 黒川 裕臣 寺田 員人

●診療科

●科 長

●医 長

●特殊外来

●特殊外来医長

総合診療科	海老原 隆	佐藤 友則 菅原 佳広 阿部 祐三 横須賀孝史 二宮 一智 關 秀明
口腔外科	水谷 太尊	高田 正典
歯科麻酔・全身管理科	大橋 誠	—
小児歯科	島田 路征	三瓶 素子
矯正歯科	小林 義樹	—
放射線科	山口 晃 (代行)	佐々木善彦
訪問歯科口腔ケア科	白野 美和	—
口腔インプラント科	廣安 一彦	—

白い歯外来	海老原 隆
スポーツ歯科外来	渥美陽二郎
いき息さわやか外来	高塩 智子
あごの関節・歯ぎしり外来	永田 和裕
口のかわき治療外来	戸谷 収二
歯科アレルギー治療外来	二宮 一智
歯科鎮静リラックス外来	大橋 誠
顎のかたち・咬み合わせ外来	水谷 太尊
特殊歯周病治療外来	阿部 祐三

●センター

●センター長

●室 長

障害児・者歯科センター	島田 路征
睡眠歯科センター	河野 正己
口腔ケア機能管理センター	江面 晃

地域歯科医療支援室	田中 彰
-----------	------

*

*

*

*

編集後記

■徐々に気温も上昇し過ごしやすい季節になりました。春は出会いと別れの季節です。新潟病院でも若干のスタッフの変更がありました。記事内でも紹介していますが、新体制を整えております。新年度、新たな気持ちで皆様と共に地域の医療に貢献できるよう心掛けていきます。

今年度もIVYnewsletterは年間4回の発行を予定しております。今後もよろしくご愛読頂ければ幸いです。



日本歯科大学新潟病院

IVY NEWS LETTER



発行日／平成27年4月1日 発行人／山口 晃

〒951-8580 新潟県新潟市中央区浜浦町1-8

TEL 025-267-1500(代) FAX 025-267-1546(支援室直通)